

平成30年度第1回新宿区東京2020大会区民協議会 会議要旨

<開催日>

平成30年5月14日（月）

<場所>

新宿区役所本庁舎5階 大会議室

<出席者>

新宿区東京2020大会区民協議会委員（25名）

村岡功、鈴木章生、渡邊哲意、山田和男、田中稔、武山昭英、馬場章夫、島田治、佐藤陽一、吉田淳子、今井康之、渥美淳子、小川定弘、勝部和彦、太田正一、的場美規子、李承珉、山本芳裕、佐原たけし、久保広介、吉住健一、寺田好孝、鈴木昭利、酒井敏男、三井梨紗子

事務局（2名）

加賀美東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部長（地域振興部長）、浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長

<開会>

【村岡座長】

皆さん、こんにちは。

本日はご多忙中のところご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

ただ今より、平成30年度第1回新宿区東京2020大会区民協議会を開催させていただきます。

次第に沿って進行を進めます。

まずは、新委員の紹介についてです。

昨年7月に、この協議会が設置されました。この協議会は大会のある2020年度まで設置されることとなっており、委員の任期も2020年度末まで続きますが、その間、人事異動等による入れ替わりもあろうかと思えます。今回、3団体において委員の入れ替わりがございましたので、新しい委員をご紹介します。

<新委員の紹介、委嘱状の交付>

【村岡座長】

ありがとうございました。

今年度から、どうぞよろしく願いいたします。

次に、次第の2、区からの情報提供についてです。

前回、この協議会が開かれたのが昨年11月でございました。それから半年近く経ちまして、大会に関する新しい動きも出てきたかと思えます。大会に関する情報共有は、この協議会の設置目的の一つでもございます。各団体の今後の取組みにも関わってくると思えますので、大会に関する情報提供を議題の一つとさせていただき、現時点における大会に関する情報を、

この場で共有したいと思います。

それでは、事務局からご説明をお願いします。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

それでは、説明をさせていただきます。

資料3「東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けたロードマップ」をご覧ください。東京都や組織委員会の動きを含めた、全体の流れをこちらで把握していただければと思いますが、スケジュールの一部は見込みの部分もございますので、全体的な概要ということでご理解いただければと思います。

平昌2018オリンピック・パラリンピックが、本年2月、3月に開催されました。平昌オリンピックについては、過去最多となるメダル13個の獲得となりました。また、平昌パラリンピックについては、メダル10個ということで、前回大会を上回り、長野大会、バンクーバー大会に次ぐ3番目の成果ということでございました。

また、来年にはラグビーのワールドカップが9月から11月に行われる予定でして、チケットの先行抽選販売については、本年3月からスタートしています。ラグビーワールドカップに向けたボランティアの募集についても、4月からスタートしています。

続いて、大会計画についてです。新国立競技場と大会ボランティアについてのスケジュールが示されておりますが、後ほど詳細をご説明させていただきます。

また、聖火リレーやマスコット等の気運醸成関係のスケジュールも、後ほど詳細をご説明させていただきます。

一番下が新宿区の取組みです。

昨年のお宿区東京2020大会区民協議会でのご意見を踏まえ、新宿区スポーツ施設整備基金を設置しました。今後、こちらの基金を活用して、スポーツ施設の整備を図っていきます。

新宿区東京2020大会区民協議会の今後の予定ですが、平成30年度の第1回目の協議会が本日までございまして、本日、この後第1回目の部会を予定しており、部会については、6月、7月に第2回、第3回を開催する予定です。また、9月頃に第2回目の協議会を実施する予定です。本年度については、論点整理や具体的取組みの検討を進めていきたいと考えています。

続いて、資料4をご覧ください。

こちらは、3月に公表された組織委員会が募集する大会ボランティア、東京都が募集する都市ボランティアの募集要項案をお配りしています。

まず、大会ボランティアですが、こちらは主に大会の競技会場の中で活動するボランティアであり、募集人数は8万人です。応募の条件として、2002年4月1日以前に生まれた方、18歳以上の方としています。また、大会期間中及び大会期間前後を通じて10日以上活動できる方という条件がございます。応募期間については、本年9月中旬から開始され、12月上旬までが第一次応募期間としています。応募方法はウェブでの応募のみとなっており、応募の単位は個人のみとなります。

大会ボランティアの活動期間や時間については、1日8時間程度の活動となっており、オリ

ピックとパラリンピック別々のボランティアとなっていますので、オリンピック・パラリンピック両方の活動を希望する場合は20日以上活動となります。

活動に当たり提供されるものとしては、ユニフォーム、活動中の飲食、保険という定めがございます。

続いて、東京都が募集する都市ボランティアですが、3万人の募集となっています。応募条件については、大会ボランティアと同じく18歳以上となっていますが、活動期間については延べ5日間以上、1日5時間程度となっています。応募期間も大会ボランティア同様ですが、応募方法については、ウェブのほかにファクス、郵送の応募もできます。採用後については、研修等をパソコンを使って行う必要があるということで、インターネットの接続環境が必要とされています。都市ボランティアの応募単位については、個人または1グループ4名までのグループによる応募となっています。

都市ボランティアの活動場所は、空港や主要鉄道駅、観光地などでの観光案内のボランティア、競技会場最寄り駅での観客の案内・誘導のボランティア、都内ライブサイトでの来場者案内や運営サポートとなっています。都市ボランティアのスケジュールや提供される物品等については、大会ボランティアとおおむね同様です。

続きまして、資料5「東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場一覧」です。

このたび、競技会場がおおむね決定しまして、新国立競技場で行われる競技については、オリンピックは競歩以外の陸上競技、つまりトラック競技やフィールド競技、マラソンがあります。また、サッカーも行われる予定です。パラリンピックのほうは、パラ陸上競技が行われます。

続きまして、資料6「TOKYO2020と祭でつながろう」です。こちらは組織委員会が作成しているチラシですが、1つ目が東京五輪音頭-2020-で、盆踊り等で活用してほしいというものです。

2点目は、東京2020応援プログラムです。こちらは「祭」という特別なプログラムが今年度スタートしており、昨年の区民協議会で応援プログラムを一度ご案内させていただきましたが、そこから要件が緩和されており、イベント内での飲食の提供等が可能となっているプログラムです。

3点目は、東京2020公式ライセンス商品の紹介ということで、夏に向けた新商品が出てきているというものです。

資料7に入る前に、いくつか情報提供をさせていただきます。

まず、新国立競技場の整備スケジュールです。現在、地上の躯体工事は終了しており、屋根の工事、地上の工事、外装、内装の仕上げの工事に入っているということです。

続いて、東京2020オリンピックの聖火リレーについてです。総日数が114日、それに移動日が加わった日数の中で全国を回るというルートとなります。聖火リレーのコンセプトは、「希望の道を、つなごう。」です。ルート選定に当たっての基本的な考え方については、原則として日本全国、47都道府県を回るルートを設定するというので、その上で、地域が国内外に誇る場所、地域の新たな一面を気づかせる場所等を選定するという事です。

ランナーの選定については、対象は全ての人々となっていますが、各都道府県からの候補者、スポンサー企業が選考した候補者を含む全てのランナーを組織委員会が取りまとめることとしており、具体的な募集方法等はまだ示されていない状況です。

続いて、大会マスコットについてです。マスコットの投票結果は2月に示されたのですが、正式なお披露目は本年夏頃であり、今、組織委員会でネーミング等を決めています。ちなみに、大会マスコットの投票については、新宿区内の全ての小学校で投票が実施されました。

続いて、東京2020大会のライブサイトについてです。競技会場外で、チケットを持つ人も持たない人も、ライブ中継を通じて競技観戦を楽しめる場所としてパブリックビューイングがありますが、それ以外に、スポーツ体験や文化の発信、大会パートナーの出展等のイベントが行われるのがライブサイトです。

こちらの実施場所ですが、8か所の候補地が挙げられています。新宿区内については都庁の都民広場が候補地として挙げられています。

今後については、本年秋頃に基本計画をまとめるとされています。

続いて、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」についてです。平成29年度の新宿区の回収状況は、機器の回収量としては約16.3トン、その中で資源化されたのは金が2.9キログラム、銀が約9.9キログラム、銅が約1,265.8キログラムでした。

東京2020大会においては、金・銀・銅合わせて約5,000個のメダルを製作する予定でして、そのために必要な原材料としては、金が約40キロ、銀が約4,900キロ、銅が約3,000キロです。こちらの数字については、純粹にメダルとなったときのグラム数であり、実際に製作する場合には歩どまり等が発生しますので、これよりも多い量が必要になります。

ここで、お配りしているチラシについても紹介させていただきます。「東京五輪音頭-2020-講習会」ですが、東京五輪音頭-2020-を新宿区内の各地域のお祭りや盆踊り等でぜひ踊っていただきたいと考えていまして、区内5か所の会場で講習会を開催します。

続いて、6月2日にパラスポーツ体験教室を開催します。今回は、ブラインドサッカーの体験や、パラリンピックのマラソンのガイドランナーを務められている方のご講演を行います。

最後に、資料7「東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に関する区の取組み」をご覧ください。

今後予定しているイベント等をご紹介します。

まず、6月9日に実施する大会777日前記念イベントです。6月9日の10時から16時で、会場は愛日小学校と牛込笹塚区民ホールを予定しています。第1会場である愛日小学校ではオリンピックやアスリートによる各種体験教室、サッカー、走り方教室、新聞記者体験、ボランティア体験、食育など、さまざまな体験教室を行いたいと考えています。このほか、気軽に体験できるものとして、サイバーボッチャ体験や車椅子カーリングの体験なども実施したいと考えています。また、第2会場の牛込笹塚区民ホールについては、オリンピックやパラリンピアンによる講演会だけでなく、小中学生による演奏会も実施したいと考えています。会場が2つに分かれています。これまでになく大規模なイベントとして企画していきたいと考えているところ

です。

東京五輪音頭-2020-講習会ですが、先ほどご説明したとおりです。

各地域イベントの出展については、地域センターまつりや若者のつどい、成人のつどい等に東京2020オリンピック・パラリンピックのPRブースを設けて、大会PRだけでなく、ボランティアのPR等も行っていきたいと考えています。

【村岡座長】

ありがとうございました。

委員から、何かご意見・ご質問等はございますか。

【委員】 ※的場委員

大会777日前記念イベントですが、詳しいタイムテーブルはいつ公開されるのでしょうか。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

本日、この場でイベント概要をご紹介させていただき、こういった方向性でイベントを行うことについて特段問題ないということでしたら、今後詳しいスケジュールを組みまして、委員の皆様にご案内をさせていただきます。

【委員】 ※的場委員

スケジュールなどが決まれば、ウェブ等で公開されるということでしょうか。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

はい。詳しいタイムテーブル等につきましては、各委員の皆様に郵送で送らせていただきたいと思います。

【委員】 ※的場委員

こういったイベントのチラシなどは区内の小学校でも配られる予定ですか。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

はい。チラシですが、今後、区立学校、保育園・幼稚園等を通じて、全ての子どもたちに行き渡るようにお配りをする予定です。

【村岡座長】

ほかに、何かございますでしょうか。

それでは、次に進ませていただきます。次第の3、今後の会議の進め方についてです。

前回の協議会の最後に、今後は部会を有効活用していこうということをお話させていただきました。

今年度からは、部会を中心とした展開としていき、自主的な取組みの推進について各団体間で踏み込んだ検討をしていただきたいと思います。

今後の会議の進め方については、これまでの議論の整理をしながら検討していく必要があると思いますので、自主的な取組みに関して、これまでどんな意見が出たかについて、事務局からご説明いただきたいと思います。

では、お願いします。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

それでは、事務局から説明をさせていただきます。

資料8「これまでの議論の整理」をご覧ください。

本協議会ですが、昨年の協議会の中でも確認をさせていただきましたが、設置の目的の一つである東京2020大会を一つの契機として地域の発展につなげていくことをこの協議会を通じてできるといいのではないかとということをご共有させていただきました。地域の発展のために、この協議会で行うこととして、例えば関係者間の連携や、地域の自主的な取組みの推進であり、それは設置要綱にも記載させていただいているところです。

この地域の自主的な取組みの推進等について、前回の協議会においてアンケート調査を実施したり、また、これまでの会議の中でもいろいろご意見をいただいたところです。その中で、2020年を契機として、こんなことが実現できるといいというご意見をいただきました。そちらをまとめさせていただきましたのが資料8です。

どんな意見かと言いますと、子どもたちに実際の競技を見せたい。それから、子どもたちに思い出の残るような体験をさせたい。2020年を機に、団体のPRをしたい。地域の行事に大会の要素を取り入れて活性化を図りたい。あらゆる方がスポーツをする機会をつくり、健康的な生活習慣を広めたい。パラスポーツが誰でも楽しめるものであることを知ってほしい。障害がある方もいろんな活動ができるということを知ってほしい。ボランティア基金を盛り上げたい。日本の伝統文化、芸術を広めたい。新宿の多様な魅力を広く知ってもらいたい。

こうした、さまざまなご意見や思いを表明していただいたところです。

説明は以上です。

【村岡座長】

ありがとうございました。

約半年前に実施したアンケート結果を中心としたご意見でしたが、かなり前向きなご意見が出ていました。

現在では、大会まであと2年となりましたので、この時とは状況が違ってきているかもしれませんが、もっとこんなことを実現したいという考えが新しい考えや、実は既に実現に向けた具体的な行動を始めているところもあるかもしれません。

資料8にある「子どもたちに実際の競技を見せたい」という点に関しては、小学校PTA連合会様が既に色々と取り組まれているようです。

2020年に全ての新宿区の小学生に大会競技を観戦させることを目標とされおり、それに向けてのスタートとして、新宿シティハーフマラソンにて小学生による沿道応援を実施する予定だということを、前回の協議会にてご報告いただきました。

沿道応援は実際にはいかがだったのでしょうか。

新宿区立小学校PTA連合会の委員から、一言ご感想などをいただけますでしょうか。

【委員】※小川委員

四谷第六小学校、早稲田小学校、西新宿小学校の3校の子どもたち約100名が、新宿シティハーフマラソンの当日、沿道応援を行いました。

子どもたちの感想としては、日頃の自分たちの練習の成果をああいった場で披露することが少なく、非常に貴重な経験だったので、とても寒い日だったものの、楽しかったという意見が多かったです。

ランナーの方々の反応ですが、子どもたちに手を振っていただいたりなど、非常に温かい反応でした。アンケートをとったのですが、今までは何もない中で黙々と走る競技だったのが、ああいう形で子どもたちが演奏したり、太鼓をたたいたりなど、ランナーとしても励みになったというお答えをいただきました。

東京2020オリンピック・パラリンピックの際に8,000人の全小学生を観戦させるとなると、非常にリスクもあります。去年は100人程度だったのですが、2,000名から3,000名程度が応援できるような仕掛けを考えて、新宿区や新宿区教育委員会、新宿未来創造財団と調整しながら取り組んでいきたいと考えています。

【村岡座長】

ありがとうございました。

この件に関しては特に何か、小川委員のほうにお聞きしたいということ、何かございますでしょうか。特によろしいでしょうか。

【委員】※吉住委員

本当に寒い中、ご協力ありがとうございました。楽器や太鼓などは大分重いと思いますが、輸送などについて、何かご苦労などはありましたか。

【委員】※小川委員

はい。ご指摘のとおり、非常に輸送がネックになりました。安全に輸送するとなると、競技を始める6時前に楽器を入れなければならないなど、何かと制約がございました。また、輸送トラックのコストについて、各校のPTAで負担をしていたのですが、なかなか予算を急にとれなかった団体もあり、出場を断念するなどということもありましたので、今年度は新宿区立小学校PTA連合会のほうでも予算をつけて、輸送費の負担をしていきたいと考えています。

【委員】※吉住委員

新宿シティハーフマラソンのコースについては、従来走っていた場所に新国立競技場の工事などのために、コースがいつの段階で確定できるか、なかなか難しいところもあろうかと思えます。新宿区における組織内や新宿未来創造財団とも連携をしながら、なるべく早く情報提供できるようにしていければと思います。

今後、東京2020オリンピックの際のマラソンコースも恐らく発表されると思いますので、そうしたときには、商店街や町会の皆さんも、自分の店舗や家の前を選手が通る際に、どういう装飾しておくのか、あるいは、きれいにするのかを考えていくといいのではないかと思います。恐らく、選手たちが走る風景はSNS等で世界的に発信されていくと思います。今後、何十年にわたって使われる画像になると思いますので、どういう状況になるかということ意識していかれたらいいと思います。

【村岡座長】

ありがとうございました。

ほかには、よろしいでしょうか。

2020年に実際に新宿区の子どもたちが大会を観戦できるということになれば、子どもたちにとっては非常に素晴らしい経験になると思います。この大会の観戦については、組織委員会との調整というものが不可欠だと思いますが、このあたりの調整の進捗状況などについて、何か事務局のほうでありましたらお知らせいただければと思いますが、いかがでしょうか。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

事務局でございます。

ご指摘の点については非常に難しいところございまして、組織委員会の中でも沿道応援に関して担当部署がまだないという状況です。関連しそうな部署に対して、機会を通じて働き掛けをしているところであり、こちらの要望をお伝えしている状況です。今後、組織委員会の中でも、担当部署が決まってくるところと思いますが、区としては、引き続き、機会を捉えて、働き掛けを行っていきたいと考えております。

【村岡座長】

ありがとうございました。

子どもたちへの働き掛けというのは重要だと思いますので、実現に向けて協議会の中でも連携して動いていければと思います。

ちなみに、子どもたちに関連した取組みの中でも、ほかにも何か連携して取り組んだ実績などはございますか。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

では、事務局からご紹介をさせていただきたいと思います。

1つは、ことしの1月ですが、目白大学が開催したボランティアをテーマとしたシンポジウムに、新宿区として協力をさせていただきました。

それから、新宿区立幼稚園PTA連合会の会報誌に、東京2020オリンピック・パラリンピックのPR記事を掲載させていただきました。

また、本日の会場にも展示させていただいていますが、子どもたちが描いた東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた絵画コンクールを新宿区立小学校PTA連合会の主催で実施していただいたものです。

説明は以上です。

【村岡座長】

ありがとうございます。

既に、自主的な取組みについては色々と進んでいるようです。

資料8に戻りますが、この資料8をきっかけとして、各部会において、それぞれが実現したいことを挙げていただき、それを実現するためにはどういった手法がとれるのか、どういった連携ができるかといった、具体的な検討をしていただきたいと思います。

部会の進め方については、部会長の主導のもと、各部会の自主性にお任せしたいと思います

が、各部会長はいかがでしょうか。

各部会において主に検討したい点などについて、今ここでお話しいただければありがたいのですが。

まずは、副座長である鈴木部会長は、いかがでしょうか。

【鈴木副座長】

今お話があったとおり、ボランティア部会での主要な検討テーマとしては、ボランティアの気運の醸成が一番大きいテーマではないかと思います。具体的には、大会ボランティア・都市ボランティアの参加というのは、大会に直接参加できる、またとない機会になります。区民の皆様方がどういうふうに関わっていくか、そういった機会を逃さないために、いろんなことをこれから考えていきたいというのがまず1点です。

また、大会のボランティアをきっかけにして、日頃地域でいろいろと活動、活躍されているボランティアの方たちの活動が更に活発になればということで、そういったことも考えていきたいと思います。

また、大会のボランティアは18歳以上が対象にですが、ボランティアを切り口にして、子どもたちに対する働き掛けも検討していかなければいけないのではないかと考えています。

こういったところにポイントを置きながら、実現していきたいことやどういったことが具体的にできるかを、これまでの議論の整理を基にしながら、更に具体的に検討していきたいと考えています。

【村岡座長】

ありがとうございました。

続きまして、東京2020大会普及啓発部会の渡邊部会長はいかがですか。

【渡邊部会長】

東京2020大会普及啓発部会としては、先ほどボランティア部会の方でも話がありましたが、次世代育成というところが一つの大きなテーマになるかと思います。大会に関連した機会ということで、今回は幅広く捉えて、次世代育成のために大会をきっかけに何ができるのかということを考えていきたいと思います。これは、組織委員会も言っているように、レガシーとしてどのようなものを残していくかということにもつながっていくと思います。

次に、スポーツや文化の普及という点もテーマになるかと思います。この大会はスポーツの祭典でもありますが、また、文化の祭典でもあります。これらをきっかけに、大会そのものの盛り上げだけでなく、新宿区としての盛り上げ、活性につながればと思っております。

こちらの部会は、検討事項が非常に多岐にわたっています。この後、また部会がありますが、議論の状況に応じて柔軟に対応をしていきたいと考えています。

【村岡座長】

ありがとうございました。

両部会で共通した点もありますが、各部会それぞれの切り口からご議論いただければよろしいかと思います。

どういったことを実現したいか、どうしたらできるのか、是非前向きな検討をしていただければと思います。いかがでしょうか。

それでは、本日はここまでとし、平成30年度第1回新宿区東京2020大会区民協議会を閉会いたします。

ありがとうございました。

<閉会>